

1 日本の近代化

時代	西暦	おもなできごと	清	中華民国
	一八四四	領事裁判権の撤廃に成功する		
	一八四九	朝鮮で甲午農民戦争が起こる		
	一八五〇	日清戦争が起こる(一八五五)		
	一八五五	(日英通商航海条約)		
	一八九七	下関条約を結ぶ		
	一八九九	日清戦争が起こる(一八九九)		
	一九〇一	日英同盟を結ぶ		
	一九〇二	北京議定書		
	一九〇四	日露戦争が起こる(一九〇五)		
	一九〇五	日英同盟を結ぶ		
	一九〇六	日本海海戦		
	一九〇七	ポーツマス条約を結ぶ		
	一九〇七	日比谷焼き打ち事件		
	一九〇九	南満州鉄道株式会社設立		
	一九一〇	夏目漱石「坊っちゃん」		
	一九一〇	小学令改正(義務教育六年)		
	一九一〇	夏目漱石「坊っちゃん」		
	一九一〇	●重工業を中心とする産業革命		
	一九二〇	伊藤博文、ハルビンで暗殺される		
	一九二〇	大逆事件		
	一九二〇	韓国併合		
	一九二二	関税自主権の回復に成功する		
	一九二二	(日本通商航海条約改正)		
	一九二二	平塚らいてう「青鞥」創刊		
	一九二二	中国で辛亥革命が起こる		
	一九二二	清がほろび、中華民国が成立		

*義和団事件については、はじまりの年代を1898年とする説、1900年とする説もある。

1 日清・日露戦争と近代産業の発展

1 欧米列強の世界分割

- 帝国主義**…資本主義の発達した欧米諸国が、市場や原料を求めてアジアやアフリカに進出し、やがて軍力で植民地化する動き。
→アフリカはヨーロッパの国々によりほとんど植民地になった。
経線や緯線で引かれた国境線は当時の情勢を表す。
- 東アジアの情勢**…朝鮮をめぐり、日本と清が対立。イギリス・ロシアも朝鮮をめぐり対立。

▶アフリカの分割(20世紀はじめ)



2 日清戦争

- 原因と結果**…1894年、朝鮮で東学信者の農民の反乱(甲午農民戦争)が起こり、これを鎮圧する名目で日清両国が軍隊を派遣。→
_____となる。→日本の勝利。
- 下関条約**…1895年。清は朝鮮の独立を認め、遼東半島・台湾などを日本に譲り、3億1千万円の賠償金を支払った。→日本のアジア進出への足がかりになった。
- 三国干渉**…1895年。アジア南下をめざすロシアはフランス・ドイツを誘い、遼東半島を清に返すよう要求。→日本はやむをえず受け入れた。→対ロシア感情の悪化。

3 日露戦争

- 義和団事件と日英同盟**
 - 義和団事件**…1899年、山東省などで、外国人排斥をかかげ、義和団を中心とする民衆が蜂起。→華北一帯に広がり、列強は軍隊を共同出兵しこの動きをしずめた。→この後もロシアは満州の占領を続ける。
 - 日英同盟**…1902年。中国に多くの利権をもつイギリスは、ロシアの南下をおさえるため、朝鮮支配をめざす日本に接近し、同盟を結んだ。

くわく学ぼう

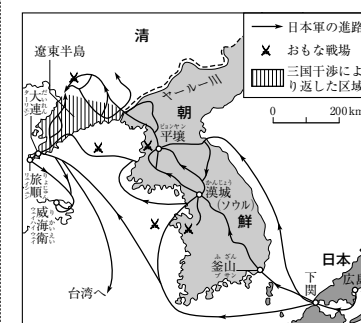
①東学

朝鮮の民間信仰をもとにした宗教で、西学(キリスト教)に対抗した。

②義和団

義和拳教という宗教を信仰する者が中心となっていた秘密結社で、欧米列強の帝国主義的進出に反抗して勢力を広げ、外国勢力の追放を目的に反乱を起こした。

▶日清戦争



(2) 日露戦争

- ① はじまり…朝鮮・満州をめぐる対立から。内村鑑三や与謝野晶子など、反戦の主張をする人々もいた。
- ② 経過と結果…日本は苦戦しながらも互角以上に戦い、日本海海戦でも勝利。しかし、兵力・物資の不足で戦争継続は困難に。また、ロシアも革命運動で国が混乱。両国はアメリカ大統領に講和の仲介を求め、アメリカのポーツマスで講和会議にのぞんだ。

- (3) ポーツマス条約…1905年。韓国に対する日本の優越権をロシアに認めさせ、南樺太(サハリン)を譲り受けた。また遼東半島南部の租借権と南満州鉄道の権利も譲り受けたが、賠償金は得られなかったため、国民は不満→日比谷焼き打ち事件。

4 条約改正の達成

- (1) 領事裁判権(治外法権)の撤廃…1894年、 外相のとき、イギリスとの交渉で成功(日清戦争の直前)。
- (2) 関税自主権の回復…1911年、 外相のとき、アメリカとの交渉で成功した。

5 日露戦争後の日本とアジア

- (1) 満州進出…南満州鉄道株式会社を設立。→満州経営の基盤。
- (2) 韓国併合…韓国統監府設置(1905年)。→伊藤博文、ハルビンで暗殺(1909年)。→韓国併合(1910年)、朝鮮総督府を置く。
- (3) 中華民国の成立
 - ① 辛亥革命…1911年。武昌(武漢)から起こり、清をほろぼす。指導者は孫文。三民主義を唱えた。
 - ② 中華民国…1912年に成立。首都は南京。臨時大総統は孫文。しかし、袁世凱が大総統になると独裁政治になった。

6 近代産業の発展と教育・文化の普及

- (1) 産業革命の進展…日清戦争前後は軽工業中心。→日清戦争の賠償金をもとに八幡製鉄所が操業(1901年)。→日露戦争前後は重工業中心。三井・三菱・住友など少数の財閥が産業界を支配。
- (2) 社会問題… の発生。足尾銅山鉍毒事件(田中正造)。
- (3) 社会主義運動…大逆事件(1910年)。
- (4) 教育の普及と科学の発達…日露戦争後、義務教育は6年に。医学・科学分野で北里柴三郎、志賀潔、野口英世、岡半太郎らが活躍。

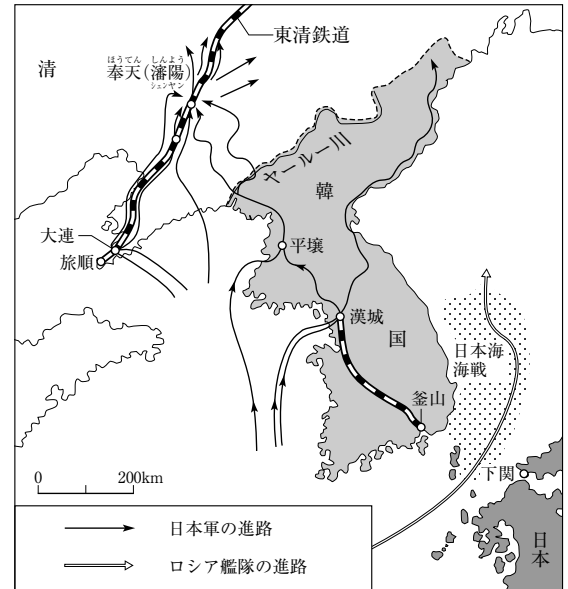
(5) 近代文学の成長と新しい芸術

- ① 文学…坪内逍遙、二葉亭四迷、森鷗外、樋口一葉「たけくらべ」、 「坊っちゃん」、石川啄木「一握の砂」など。
- ② 美術…フェノロサ・岡倉天心らが日本美術を復興。横山大観(日本画)、黒田清輝(油絵)、高村光雲(彫刻)など。
- ③ 音楽…滝廉太郎「荒城の月」、「花」などの作曲。

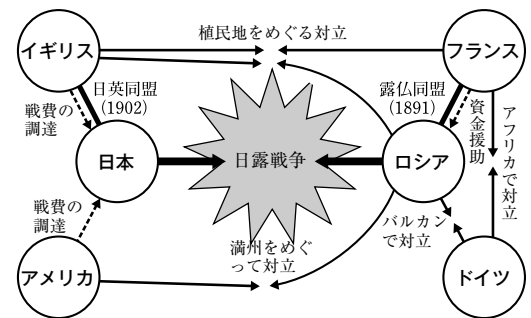
③ 与謝野晶子の詩「君死にたまふことなかれ」

日露戦争に出征した弟の身を案じる気持ちをうたった。

▶日露戦争



▶日露戦争当時の列国の関係



④ 三民主義

民族主義(民族の独立)、民権主義(政治上の平等)、民生主義(経済上の平等)。

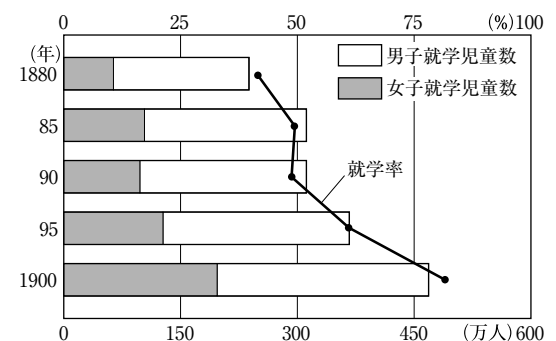
⑤ 八幡製鉄所

1901年操業開始。中国から輸入した鉄鉱石と、北九州の石炭を用いて鉄鋼の自給をめざした。

⑥ 大逆事件

政府は、幸徳秋水らが明治天皇の暗殺を計画した(大逆罪)という理由で、多くの社会主義者を捕え、非公開の裁判で幸徳ら12名を死刑とした。しかし、多くは無実であったと考えられている。

▶就学率の増加



確 認 問 題

1 年表によるまとめ

□ 次の年表の〔 〕①～⑫にあてはまる数字や語句を答えなさい。

時代	年代	日本のできごと	年代	世界のできごと	中国
明治時代	1891	足尾銅山鉱毒事件が起こり、田中正造が解決に努力する 軽工業を中心とする産業革命が起こる			
	1894	陸奥宗光外相の交渉により〔 ② 〕が撤廃される	1894	朝鮮で〔 ⑩ 〕戦争が起こる	
	〃	〔 ③ 〕戦争が起こる			
	1895	下関条約が結ばれる			
	〃	ロシアなどから〔 ④ 〕を受ける		列強の中国侵出が激化する	
	1901	八幡製鉄所が操業を開始する	1899	中国で義和団事件が起こる	
	〔 ① 〕	イギリスとの間で日英同盟が結ばれる			清
		重工業を中心とする産業革命が起こる			
	1904	〔 ⑤ 〕戦争が起こる			
	1905	アメリカの仲介で〔 ⑥ 〕条約が結ばれる			
	1910	幸徳秋水らが処刑される（〔 ⑦ 〕事件）			
	〃	〔 ⑧ 〕を併合する			
1911	小村寿太郎外相の交渉により〔 ⑨ 〕の回復に成功する	1911	中国で孫文の指導のもとに〔 ⑪ 〕が起こる		
		1912	中国で〔 ⑫ 〕が成立し、清がほろびる	〔 ⑫ 〕	

1

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫

2 日清戦争

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

①朝鮮で起きた甲午農民戦争をきっかけに日清戦争が起こったが、これに勝利した日本は、②清に朝鮮が独立国であることを認めさせるとともに、③半島、台湾などを譲り受けた。しかしその直後、④ロシアはドイツ・⑤とともに⑥半島を清へ返すよう強く日本に申し入れ、日本はやむなくこれを受け入れた。

- (1) ①に共通してあてはまる語句を書け。
- (2) ②にあてはまる国名を書け。
- (3) 下線部④の戦争を起こした農民たちが信仰していた宗教を何というか。
- (4) 下線部⑥について、次の問いに答えよ。
 - ① これらのことが定められた条約を何というか。
 - ② ①の条約で、日本が得たもう1つのものは何か。次のア～エの中から選び、その記号を書け。
 ア 香港 イ 樺太 ウ 千島 エ 多額の賠償金
- (5) 下線部⑤のできごとを何というか。

2

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)①
- ②
- (5)

3 日露戦争

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

④日露戦争が始まると、日本は苦戦をしながらも勝利を重ねた。しかし、日本には長期にわたって戦争を継続する力がなく、またロシアも国内に革命の動きが起こって、両国とも戦争を続けることが困難となったため、⑤アメリカの仲立ちで講和を結んだ。

(1) 下線部④について、次の問いに答えよ。

① この戦争が始まる2年前に、日本はロシアに対する利害が一致したある国と同盟を結んだ。この同盟を何というか。

② この戦争の際、弟を戦場に送った女性の気持ちを「君死にたまふことなかれ」とうたった歌人はだれか。

② 下線部⑤のとき結ばれた条約を何というか。

③ (2)ののち、東アジアへの侵略を強めた日本は、1910年にある国を植民地として支配下に置いた。このできごとを何というか。

4 条約改正

次の問いに答えなさい。

① 領事裁判権(治外法権)撤廃を含む条約改正に最初に応じたのはどこの国か。

② 外務大臣の小村寿太郎は、1911年、アメリカとの交渉により不平等条約の改正に成功したが、このとき回復された権利を何というか。

5 近代産業の発展と教育・文化の普及

次の問いに答えなさい。

① 日本で、軽工業を中心とする産業革命が起こったのはいつごろか。次のア～エの中から選び、その記号を書け。

ア 18世紀末 イ 19世紀はじめ ウ 19世紀末 エ 20世紀はじめ

② 日本で産業革命が進むと、三井・三菱などの大資本家が、一族を中心に強力な組織をつくり、日本の経済を動かした。この組織を何というか。

③ 日露戦争後、義務教育は何年に延長されたか。

④ 「坊っちゃん」^{わがはいねこ}、「吾輩は猫である」など多くの名作を残した小説家はだれか。

⑤ フランスの画法を日本に伝え、印象派の明るい画風^{しやうかい}を紹介した人物はだれか。

3

(1)①

②

(2)

(3)

4

(1)

(2)

5

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)